

## 2022年度筑波学院大学前期公開講座シラバス

\*一部内容に変更がある場合もあります。

講座No.

1	講座名	グローバル・フィルム・ディスカッション: Maybe Not Happy, But Certainly Gay! (春)																
	担当教員名	Robert Juppe																
	講師現職	筑波学院大学教授																
	講師略歴	筑波学院大学																
	開講日時(時間)	5月12、9、26 6月2、9、16、23、30 (8回)(18:40-20:30)																
	教室	1308																
	講座概要	In this course, films dealing with gay and bisexual characters will be shown. The instructor will try to introduce films with which students are not familiar. Moreover, the films will come from a variety of countries and represent different genre. Finally, the choice of films/countries will depend on the viewing background of the participants. The syllabus below is subject to change, even here. Come and enjoy films/discussion that should help you better understand a lesser understood segment of society. Bring your boyfriend, girlfriend, or both!																
	授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>Film I: Overview</td></tr> <tr><td>2</td><td>Film I: Review Part I, View Part II</td></tr> <tr><td>3</td><td>Film II: Discussion, film II</td></tr> <tr><td>4</td><td>Film II: Review Part I, View Part II</td></tr> <tr><td>5</td><td>Film III: Discussion, film III</td></tr> <tr><td>6</td><td>Film III: Review Part I, View Part II</td></tr> <tr><td>7</td><td>Film IV: Discussion, film IV</td></tr> <tr><td>8</td><td>Film IV: Review Part I, View Part II</td></tr> </tbody> </table>		1	Film I: Overview	2	Film I: Review Part I, View Part II	3	Film II: Discussion, film II	4	Film II: Review Part I, View Part II	5	Film III: Discussion, film III	6	Film III: Review Part I, View Part II	7	Film IV: Discussion, film IV	8
1	Film I: Overview																	
2	Film I: Review Part I, View Part II																	
3	Film II: Discussion, film II																	
4	Film II: Review Part I, View Part II																	
5	Film III: Discussion, film III																	
6	Film III: Review Part I, View Part II																	
7	Film IV: Discussion, film IV																	
8	Film IV: Review Part I, View Part II																	
テキスト	All materials will be prepared and distributed by the instructor.																	
備考	All discussion and presentations will be conducted in English.																	
2・11	講座名	英文の眺め①②③	定員	3~20名														
	担当教員	橋本二郎(筑波学院大学教授)	対象	制限なし														
	開講日時	①5月28日(木)、②8月4日(木)各14:40~16:10 ※日程に変更がありました。																
	講座概要	単語の意味、発音だけを知ったとしても、その単語を使うことはできません。その単語が他の単語とどのように結びつくかを知る必要があります。単語同士の結びつきを決めているのは英文法です。英文を急がず、じっくり眺めながら、そこに潜む英文法を探ります。																
備考																		
3	講座名	農業法人の通信販売戦略	定員	7~30名														
	担当教員	伊藤 雅之(筑波学院大学教授)	対象	農家、農業法人														
	開講日時	6月29日(水曜日) 13:00~14:30																
	講座概要	多くの農業法人は、生産、加工、販売、サービスなど多様な事業に取り組んでいます。これら事業の一つにインターネットを活用した消費者への直接販売があります。本講座では、農業法人がどのような戦略でインターネット販売に取り組んでいるのか、その実態と特徴、課題を解説します。																
備考																		
4	講座名	データサイエンスを支える数理学のススメ	定員	5~30名以内														
	担当教員	宝崎 陸祐(筑波学院大学教授)	対象	高校生以上														
	開講日時	7月7日(木)14:40~16:10																
	講座概要	この講座では、データサイエンスの3つの要素技術のうちの数理学に関して勉強し、人間にとって価値を生む意思決定とは何かにいて学ぶ。また、具体的な問題に対する解決ツールについても紹介する。参加者は、聴講のみでもよいが、エクセルのツールを使ってみることも可能である。																
5・8・14	講座名	Sustainability: From Theory to Practice	定員	1~30名(当日申込可)														
	担当教員	第1回はタイラー先生、第2回・第3回はグロンウォルド先生	対象															
	開講日時	7月7日(木)・7月23日(木)・8月11日(木) 各10:30~12:00																
	講座概要	<p>(一部内容に変更がある場合があります) Continuing a four-part lecture series (to be conducted entirely in English) on the concept and practice of sustainability. Prof. Tyler will deliver the first two lectures on the topic from the standpoint of philosophy. Prof. Gronewold will deliver the last two lectures on the same topic except focusing on the practice of sustainability in diplomacy and international relations.</p> <p>Part 3 of the lecture series will focus on the form and function of international environmentalism, with an emphasis on global environmental treaties. The lecture will cover the history of sustainability and environmental concerns at the United Nations, the concept of "resource sovereignty" vs. "the global commons" and how both are handled within the UN system. Special emphasis be placed on the role the United States has played in laying the foundation for global natural resources management, and the practical limitations of promoting sustainability in the absence of a one-world government. In short, we will explore the three primary ways in which international environmental treaties function, by either (1) assigning rights to resources or resource access, (2) facilitating information sharing and cooperative regimes mainly in the context of international trade, and (3) encouraging sustainability and conservation via incentive systems.</p> <p>Part 4 of the lecture series will delve more deeply into the hows and whys of environmental treaties, namely how they are negotiated and why they are drafted within the UN system and in other multilateral fora. We will explore why some treaty bodies succeed, while others fail, and how negotiators entice governments to join global environmental management regimes in the first place. In sum, governments are only likely to sign and ratify an international environmental agreement when that treaty (a) require little to no changes in status quo behavior, (b) offers participation that is inexpensive or even free of charge, and (c) contains no provisions for punishments or fines for noncompliance. From here, we can have an in-depth discussion on why international climate change talks have failed for over 30 years.</p>																
	備考	This lecture series will be held on Saturdays in the Library (a required condition). The public will be invited to attend, and walk-in is welcomed. All 4 lectures in the series will be held in English.																

6・9・15	講座名	書物から見た日本近代文学(1回目:漱石編)(2回目:谷崎編)(3回目:太宰編)	定員	1~30名(当日申込可)
	担当教員	小田桐 ジェイク(筑波学院大学、助教)	対象	日本近現代文学に関心のある人
	開講日時	1回目7月9日(土)、2回目7月23日(土)、3回目8月11日(木) 各13:00~14:30		
	講座概要	<p>文学は「読む」ものであるが、読むために媒体が必要である。本講座では、夏目漱石・谷崎潤一郎・太宰治という三人の文豪の作品を読み直す目的で、書物の観点から取り上げてゆく。</p> <p>第一回の講座では、日本近代文学の歴史を踏まえた上で、夏目漱石のデビュー作『吾輩は猫である』と最晩年の『こゝろ』を中心に、漱石文学の一部を出版された書物の面から読み直してみる。</p> <p>※講座中に取り上げる作品は『吾輩は猫である』『こゝろ』の二作。</p> <p>第二回の講座では、谷崎潤一郎の名作『春琴抄』を中心に、初出雑誌から単行本になる過程を考察し、作家自身が装幀デザインに手を出すと読者の反応を考えてみる。</p> <p>※講座中に触れる作品群は『春琴抄』『崖』『顔世』だが、主に『春琴抄』について解説する。</p> <p>第三回の講座では、太宰治の名作『人間失格』を中心に、執筆時期をはじめ、初出雑誌の掲載、単行本(初版本)の出版という過程を考察し、現在に至るまで『人間失格』がどのように生き残っているのかを捉え直してみる。</p> <p>※講座中に作品集『晩年』収録作品群も触れるが、主に『人間失格』を取り上げて考察する。</p>		
備考	取り上げる作品(群)を事前に読んでくる。			

7・10	講座名	3回の「歴史決闘」から考える中国の歩みと日中交流	定員	1~30名(当日申込可)
	担当教員	周 亜芸(筑波学院大学 助教)	対象	どなたでも参加可能
	開講日時	7月9日(土)、7月23日(土)各15:00~16:30		
	講座概要	<p>お隣の中国のこれまでとこれからについて一緒に学んでみませんか。中国は中国共産党が指導する国です。中国共産党100年の歴史で、今回も含めて3回の「歴史決闘」が出されました。「歴史決闘」とは中国共産党が過去の政治路線や思想について振り返り、新たな方針を指し示すための決闘です。1回目は、1945年に毛沢東が、二回目は、1981年に鄧小平が、そして3回目が、この秋(2021年)に習近平が主導して出しました。本講座では、一人の若い中国人女性の視点から、これら3回の歴史決闘の内容や意味をご紹介します。皆様との議論を通して、草の根の日中交流を進めたいと期待します。</p>		
備考				

12	講座名	茨城の食について考える①	定員	10名程度
	担当教員	古家晴美(筑波学院大学 教授)	対象	小学生以上
	開講日時	8月11日(木) 9:00~10:30		
	講座概要	<p>茨城県は『常陸国風土記』にも「常世の国」と謳われるほど、海の幸・山の幸に恵まれた豊かな土地です。また、現在は北海道に次ぐ農業王国としても不動の地位を築いています。このような茨城の食の風土と食の関わりについて考えます。また、レンコン、白菜、ピーマン、水菜、鶏卵を始めとする生産量全国一位の農業が生まれた背景、歴史、そして将来への可能性についても考えていきます。まなか浦の漁業についても取り上げます。この時間に引き続き行う茨城の食について考える②では、ここで取り上げた食材を使用して、実際に調理を行います。</p>		
備考	夏休みの自由課題にすることも出来ます。			

13	講座名	茨城の食について考える②	定員	10名程度
	担当教員	古家晴美(筑波学院大学 教授)	対象	小学生以上
	開講日時	8月11日(木) 10:40~12:10		
	講座概要	<p>茨城の食について考える①で取り上げた地元食材を使用しながら、実際に調理を行います。地域交流センターの調理室をお借りして班ごとに分かれて取り組みます。本学で10年間、毎年、調理指導をして下さっていた「つきぢ田村」3代目の故: 田村隆(たらたかし)氏(NHKの「きょうの料理」やヒゲタ醤油CMでおなじみ)が本学の調理実習のために作成して下さいましたオリジナルレシピもご用意するのでお楽しみになさして下さい。</p>		
備考	食材費として別途、500円を徴収します。			

17	講座名	Adobe Photoshopを使ってオリジナルグッズをつくる	定員	10名程度
	担当教員	野田美波子(筑波学院大学講師)	対象	
	開講日時	8月20日(土)10:00~11:00		
	講座概要	Adobe Photoshopで、イラストや写真をデザインしてオリジナルグッズをつくる。		
備考	材料費200~300円(未定)			

18	講座名	春兩物語を読む―「血かたびら」に見る上田秋成の歴史観―	定員	5~20名
	担当教員	橋本佳子(筑波学院大学 助教)	対象	
	開講日時	9月10日(土)13:00~14:30		
	講座概要	<p>江戸後期の文人である上田秋成の小説『春兩物語』の一編を紹介します。『春兩物語』は上田秋成の晩年の作品で、一般によく知られている代表作の『雨月物語』とはまた異なる魅力があります。平安時代の「葉子の姿」に題材をとった物語は、史実に沿いながらも随所に秋成の創意が織り込まれています。ストーリーを追いながら、秋成の創作の意図を推察してみましょう。</p>		
備考				